

# 談話会通信 No. 62

東京蜘蛛談話会

活動計画	-----	1	類
投稿から	-----	2	類
会計だより	-----	3	類
運営委員会について	-----	4	類

クモを始めて何回目かの春がやってきました。小さな庭にも。裏の山でも盛んにクモが動きだしました。いつもは地下鉄で通勤しているのですが、ぼかぼか陽気に誘われて畑や森を縫うようにのんびり歩いて帰ってくるが多くなりました。新幹線が走る山のそばの切り通しでキシノウエトタテグモの巣を見つけほくそ笑みしました。いつもの道を少し変えただけで新しい発見がありました。これからも楽しみに歩くことにしました。

今年度は東京都町田市の野津田小野路地区で行います。

第一回 昭和63年 5月22日                      第一回 昭和63年 7月24日

第一回 昭和63年 10月23日                      第一回 昭和64年 2月19日

採集観察会の実行委員は小峰光弘氏です。

集合：神奈中バス「野津田車庫」バス停 10:00

交通：小田急線町田駅西口～JR横浜線町田駅中央口下車 町田バスセンター①番野津田車庫行きに乗って約20分、終点下車。料金は180円。

5～7分おきに出ています。案内図を同封しました。参考にしてください。

(今回の野津田小野路地区はスポーツ公園の建設が予定されています。この地区の正確なクモの記録を作るためにも、観察のみならず採集にも協力をお願いします。)

1988年6月12日、午前10時から目黒区立大橋区民会館で行います。

例会で発表する方は、早めに事務局熊田まで連絡を。(総会を行いますので、例会での発表申し出が多いときは先着順とさせていただきます。)

例会参加費：500円(会員外の参加も歓迎します。お誘い合わせの上お越しください。)

出欠連絡用の葉書を同封しました。5月10日までにお出してください。発表予定の方はお早めに。是非近況・ご意見もお聞かせください。

くも

岩手県水沢市常盤小1年 ささき かずむね

あのね

くもって すごいんだよ。

ちっちゃくても

虫をとって たべられるんだよ。

くものすに虫がかかるでしょ

虫がうごかなくなるまで

じっとすみっこでみてるの

ぐだとなったころ出てってたべるの。

あとね

まんなかでまってるんだよ

虫がくると

すばやく くりん くりんとまいてたべるんだよ。

なんか、てじなのおじさんみたい。

くもって すごいんだよ

1988年1月29日。岩手日報 こどものポエム欄掲載

(片岡佐太郎さんより：余りに可愛いので。。。。)

「クモ」の記事、あれこれ (1) 池田 博明

その1. 石川千代松の『動物学講義』中巻(昭和9年, 1934. 金刺芳流堂)には、クモに関する説明が載っている。この本はちょうど動物分類学概論といった内容である。Lycosakに「小守グモ」という訳語を当てていることが注目される。

その2. 磯野直秀『モースその日その日』(1987年. 有隣堂書店)には次のような件りがある(22章)。“モースは、明治12年4月6日、江木学校講談会で「クモの話」という講演をしたことがある”と。

モースは江木学校講談会で進化論四講もしている。この講演は『芸術叢誌』に要旨が掲載されているそうなので、「クモの話」の事も要旨が出ているかもしれない。『モースその日その日』によれば、江木学校講談会は学術講演会で、毎月第一第三日曜の午後、一ヶ月金十銭の割合の聴講切符を購入して常聴講者となって聴くか、臨時に一回十銭を払って聴くかのどちらかであった。初回は二千人、以後数百名、多いときには六百～八百名の聴衆があったという。

明治12年は1879年で、ゴッホがウィーンの『動植物学会誌』に「日本のクモ類および多足類」として日本のクモを初めて記載発表したのが明治11年である。

その3. ダーウィンの『人類の由来』を日本で最初に訳したのは、田中茂穂であろう。その訳書は『人類の由来、及び雌雄淘汰より見たる男女の関係』と題されてい

て、隆文館から明治42年(1909)3月1日発行であった。1090頁の大著である。クモについては訳書の487~490頁に出ている。この内容は中央公論社の世界の名著の該当部分と同じであった。

その4. 板倉聖宣『模倣と創造』増補版(1987年、仮説社。この本は素晴らしい)に日本で出たフーブルの訳書一覧が出ている。それによると、最初に出た単行本は、英義雄訳『蜘蛛の生活』(大正8年、1919、洛陽堂)である。『昆虫記』の一部で、『昆虫記』第一巻が出たのは大正11年である(「昆虫記」という名訳は大杉榮による)。

## 会計だより 郵便振替口座 東京 7-74885 東京蜘蛛談話会

(敬称は略させていただきます)

### △費受領

昭和63年2月~4月上旬 (会費は2800円)

昭和63年(1988年)度

日下部光代・小峰 光弘・千国安之輔・古川 渉・野戸 章・加村 隆英・  
貝発 憲二

昭和64年(1989年)度

小峰 光弘・古川 渉

昭和65年(1990年)度

小峰 光弘

### 会員移動

(入会)

古川 渉 〒180 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-33-10-801

(住所変更・転居)

野戸 章 〒569 大阪府高槻市南平台5-9-16

斎藤 博 〒400-05 山梨県南巨摩郡増穂町最勝寺1224-53

松田まゆみ 〒080-14 (郵便番号変更)

(退会)

高野ツヤ子・近藤 恭子(希望退会)

ご注意:今までの郵便振替口座 横浜 0-1460 は廃止しました。今後は郵便

振替口座 東京7-74885 加入者名 東京蜘蛛談話会を御利用下さい。

事務局(会計を含む)〒221 神奈川県横浜市神奈川区片倉町199 熊田 憲一

領収証の必要な方は振替用紙通借欄にその旨お書きください。

(会費の納入状況につきましては、近いうちに連絡いたします)

## 会員消息

池田 博明氏：これまでに学会誌や談話会誌に発表された記事を種別にまとめた『クモの生理生態事典』を出しました。B5判172頁で頒価送料共950円。希望者は「郵便振替横浜0-17837池田 博明」に代金を振り込んでくださいとのことです。手数料は30円です。

嶋田 順一氏：一昨年の7月、埼玉県飯能の隣西武線元加治駅から歩いて5分、イワサワフードセンターの中にヤキトリ大将というヤキトリ屋を始めました。この日は丁度東亜蜘蛛学会の50年目の天覧山採集会の日でした。秩父や奥武蔵方面にお出かけの際ちょっと寄ってはいかがですか。 ☎04297-2-7880 (くもだ)

## 新運営委員と運営委員会

〈運営委員は総会での承認が必要ですが、会の活動を円滑に進めるため運営委員として申し出られた方にて暫定的に活動をしております。総会まで運営委員をしていただける方を募集しております。〉

新運営委員 (予定者)

池田 博明・板倉 泰弘・井上 房枝・小野 展嗣・熊田 憲一・笹岡 文雄・  
新海 明・高橋 登・谷川 明男

本部 (暫定)

〒160 東京都新宿区百人町3-23-1

国立科学博物館動物研究部

小野 展嗣

事務局 (会計を含む) (暫定)

〒221 神奈川県横浜市神奈川区199 熊田 憲一

会誌編集 (暫定)

〒223 神奈川県横浜市港北区新吉田町1-5-23 谷川 明男

通信編集 (暫定)

〒258 神奈川県足柄上郡大井町金手1099 長川方 池田 博明

○KISHIDAIAへの投稿は会誌編集。談話会通信への投稿は通信編集に！

○わからないことがありましたら事務局へ連絡してください。

(5月22日の採集観察会の後に運営委員会を開きます)

## KISHIDAIA 原稿募集

地球号に共に乗っているクモが自然の中で認識されるようになりなした。わたしたちも正確な記録でクモの位置をしっかりとしたものにしませう。

談話会通信 No. 62

1988年4月20日発行

発行者 東京蜘蛛談話会

通信編集代行 熊田 憲一

印刷 谷川 明男